

2014年11月
号外

百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

F A W A 2014 韓国大会

～相馬雪香先生の想いを受け継いで～



相馬先生と FAWA、そして一冊の会

一冊の会会長 大槻明子

相馬雪香先生のログセは「あなただったらどう思う・・・?」。物事に対して関心を持つことの大切さ、女性の持てる能力は平和の資源であることを通して FAWA の歴史を教えてくださいました。

第2次世界大戦が終わって間もない 1950 年、スイス国際会議で相馬雪香先生は、フィリピンの女性国会議員のペクソン女史と出会いました。そこで「アジア・太平洋地域の女性の連帯の必要性」について話し合い、アジア婦人連盟を作ろうということになり、各国に呼びかけられました。ペクソン女史が中心となって 9 年後の 1959 年に 12 カ国の女性団体で設立されたのが FAWA (アジア・太平洋女性連盟) です。

その頃、日本はまだ積極的に国際交流をする余裕のない時期でした。世界の各地では、戦争が続いているところもあり、核兵器の数を競い合う国もありました。差別や貧しさに苦しんでいる人々も大勢いました。勇気と知恵をふりしぼり、各国の女性リーダーと友情を結び語り合って実現した FAWA であることを相馬先生から教えて頂きました。友好親善が国益につながった例として、後日戦後の賠償交渉の時に、日本はペクソン女史からいろいろ便宜を図って頂いたそうです。

創設の地フィリピンのミンダナオ島は、高貴な花「蘭」のふるさととしても有名です。古来、香しき友情は「蘭室の交わり」と呼ばれます。一冊の会では、この島に識字支援の歴史があります。アジア・太平洋の有識者との黄金の友情は、今日の FAWA の発展と確かなる未来の平和への道へとつながっています。

平和を築く力と信念を備えているのは、母性であることを実感せずにはられません。規約によると、FAWA は、1 国 2 団体で、しかも有識者で構成されておりました。

1995 年の北京での世界女性会議を機に、草の根 NGO の重要性が叫ばれ、国連においても NGO の活動を重視するようになりました。そして、2007 年、日本の東京で開催され FAWA の会議では、名誉副会長を務められた相馬先生のご提案によって、庶民の集まりであるグループも参加し、一冊の会が実行委員の団体として会議の運営に当たりました。その後 19 回 2010 年(台湾)、20 回 2012 年(グアム)とバトンを受け継いでおります。

この度は北京女性会議から 20 周年を目前にして北京行動綱領に謳われた、ジェンダー平等の進捗状況を評価する機会となります。女子差別撤廃条約 (CEDAW) やその他の人権擁護条例のもとで各国政府は女性と女兒に対するあらゆる差別を検討し、女性は平和構築の担い手として積極的に役割を担いそれらを背景として 2014 年 FAWA 総会 21 回が開催されました。

～女性変革の時代を迎えて～

第 21 回 FAWA 国際会議が 2014 年 10 月 14 日～18 日までの 4 日間、51 カ国 790 人(日本～31 名)参加して韓国ソウルで開催致しました。各国の国旗入場。韓国キム会長の大会宣言。続いて、韓国朴大統領と

UN Women ヌカ事務局長のお顔が舞台全面に映り、ビデオメッセージと続き、その後、ゲストとして韓国首相が登場。またキム女性大臣の講演と大行事が展開されました。会場内は、一同、身を引き締め真剣に行事に参画致しました。ソウル市長主催の晩餐会は豪華なおもてなしと真心こもるご配慮に感激いたしました。

不肖、私も FAWA ボードメンバー執行理事として世界の人々と女性が幸せを享受する為に根強い男女格差に挑戦。「能力の開発」「女性の地位向上」「法整備」等について熱く語り合い、胸襟を開いて平和な地球を構築し、女性の持てる特質・能力を資源として社会に還元する為の議論を重ねました。

一冊の会としては、東京・台湾・グアム・韓国、今回で4回目の参加です。総会を重ねる度に、先輩方の御苦勞を知り、今日世界中で『女性の変革の時代』を迎え「20・20・30」運動を目指し、汗を流す尊さに今日までバトンを持って走り続けて下さった相馬雪香先生、関西クラブの續節子先生を顕彰しつつ、次の二年後の開催国シンガポールに向け一冊の会一同、老いも若きも“何のため”をしかと考察し、お互いに協調し研鑽を積み重ねて参ります。最終日に最も嬉しかった事は一字一句まで、全員参加の手直しを続け皆の総意の結実として立派な「ソウル宣言」が発表され、女性の地位向上への目標がしかと定まったことです。

私達は、この宣言書のもと研鑽して参ります



韓国大統領
朴槿恵 (パククネ)



韓国首相 鄭 烘原
チョン・ホンウォン

任

一冊の会 会長 大槻 明子 FAWA 副会長

一冊の会 理事長 小山 志賀子 FAWA ボードメンバー (執行理事)

新生の道を開拓しつつシンガポールの Sara Mai Woo 新会長と共に力を合わせ、尾崎行雄先生の「人生の本舞台は常に将来にあり」の御言葉を胸に男性理解者を増やし新しい人材発掘に努力し22回総会の大成功を目指して参ります。



一冊の会・理事長 小山志賀子



私たちが学んでいたクォータ制がソウル宣言に取り上げられております。日本では赤松良子先生を中心として女性の地位向上の為に、先頭切って啓発運動を実践しております。

実現するためには、法整備が大事。それには女性議員の水準を30%に引き上げ、女性がエンパワーメントし、クォータ制の推進が大事である事を再確認致しました。参加者は、クォータ制の重要な事を学び、櫻華塾では21世紀を担う若い世代の意識を育み、能力を開発する事に力を注いで参りました。また、第20回グアム総会での課題を研鑽。

そこで日本のカントリーレポートには、それらを組み入れ、若手二人が民族衣装のお振袖で日頃の勉学の成果を発表。流暢な英語で注目を集めました。一冊の会も若手へのバトンが、確かに実を結んだ総会になりました。私は「人権と女性」の分科会で発言させて頂きました。さらに日本でのFAWAの地位向上のため、一冊の会は男女共に協力し、一丸となって草の根活動を開始して参ります。



FAWA日本事務局長 三坂万理子

時に肩をくみ暖かく励ましあう4日間は深い感動と刺激の連続でした。各国の間の政治的な縛りを越えた女性の連帯こそ、全ての人間が尊厳と平等のもとに生きられる社会を作る源であることを改めて認識し、そして自分のできることに真摯に取り組む決意を固める会議でありました。分科会では「人権と女性」の副議長を務めました。



箱根芳子

1995年の北京女性会議が女性の権利の推進の基盤であると再認識し、あの時設定された2015年までのMDGの後の持続可能な開発目標(SDG)が重要であることを学びました。



平間幸江

異なる言語や文化の人々とコミュニケーションをとるには、世界の多様性に応じた能力が求められます。開かれた心で、少しでも学ぼうという気持ちで臨みました。収穫は大きなものでした。



村岡清佳・大槻由美

村岡清佳と大槻由美の2人が「カントリーレポート」発表者という身に余る大役を頂きました。

20回グアム総会の提案を受け、No DV啓発運動や、東日本被災地への支援、女性の地位向上等、草の根運動を発表しました。その他に2人とも同時通訳や記録を担当させて頂きました。

女性のエンパワーメントによって更なる変化が必要な時で

す。一部の有識者だけが旗を振るのではなく、私達NPO/NGOの小さな活動や運動がやがて大きなうねりとなって社会をも変えることが出来る。と私たちは固く信じております。(ヤング代表 村岡 清佳)





瀧川紗智子

女性と教育について、ノーベル平和賞を受賞したマララさんのスピーチや自分の体験を元に分科会にて発表しました。（さくらヤング代表）



赤田美香子

「女性と暴力」について日本の現状や、「一冊の会」の草の根の地道な啓発活動を分科会で紹介しました。



水上鞠子

一人の声では変えられないが、多くの人が常日頃から問題意識を持ち、連帯して行動を起こすことが大事だと感じました。



藤沢まり子

故、相馬雪香先生の台風をも微動だにしないご精神に続き日本メンバーは、大型台風19号の突風豪雨を跳ね除け全員参加。会場を圧する韓国国会長のリーダーシップ、強靱なパワーに最敬礼。



足立久子 岸田和江 北川ゆかり

日本の国会議員が占める女性の割合は、186カ国中121位と低い。また、日本の上場企業の役員に女性の占める割合は、1.2%に過ぎないので残念です。現在日本では、クォータ制を法制化する可能性は、低いのではないのでしょうか……。との話もあります。ノルウェー国では、44%が役員である事を知り世界の情報をキャッチする必要性を強く感じ反省しました。



椎名節子

着付け担当として日本文化の素晴らしさを御披露しました。各国色とりどりの民族衣装が並ぶ中、着物が大人気でした。もちろん私もお振袖。



田中有里絵

民族衣装のお振袖を着て通訳として初めて国際舞台に立たせていただき、多くを学び、この感動と価値を日本中、世界に広めて参ります。



芹沢充子

ワークショップ議長を仰せつかり、色々な国の方が、其々の背景や環境の中で、「女性参加による経済開発」について話し合いました。「有言実行」が一番のメッセージ。



山内聖士

初参加ながら、記者として写真係を務めました。多くの国の記者がいる中で、写真を一枚撮るにも闘いがあることを肌で感じました。



野本朝子

インドでは国民の65%の人が家庭内暴力を経験しているという現実に驚きました。



岩元喜代子

「女性と政治」分科会で経験を通して発言。生の声を聴き、語り合い、本当の意味での「女性の輝く社会」を建設するために、連携を深めていきたいと切に願いました。



一万田陽子 立沢麗 田村洋子

初めてFAWAに参加しました。各国の抱える問題にはカテゴリーによって考えの大きな開きや温度差があり、課題が山積している現状に心が痛みました。



瀬沢富子 瀬沢陽子

女性本来の逞しき連帯を肌で感じ、今後の人生に大きな糧を頂きました。



和泉孝子 和泉美保 平野久子

過密スケジュールをぬって短時間で、日本の民族衣装である着物を着せる事に徹した4日間でした。自らの技術を活かして参加しました。



右 着付けの様子



UN Women プレジレ・ムランボ・ヌクカ事務局長



FAWA 会長
ドクターキム女史



FAWA 新会長
サラ メイ ウー女史

DON・ALMAS (桜庭伸弘・諏訪修史・谷島 力)

FAWAナイトで、特別ゲストとして演奏を行った一冊の会・親善大使のDON ALMAS。心踊るアップテンポの「サクラ」の演奏が始まると、会場中がツイストダンスを踊って総立ちになり、「トラジ」の曲ともなると歓喜の渦となり、大拍手鳴りやまず。会場中が燃えに燃え、参加者全員が一体となった演奏でした。



2014年10月17日

ソウル宣言

アジア-太平洋女性連盟第21回総会

第21回FAWA大会「アジア太平洋地域における男女共同参画のための女性のエンパワーメント会議」のために大韓民国ソウルに参集したわれわれFAWAの女性たちは、2014年10月17日に以下のソウル宣言を作成した。

FAWAは、次の10年のための国連（UN）の持続可能な開発目標（SDGs）の観点から、ジェンダー平等を特別の目的をもった他に類をみない持続可能な開発目標として支持する。ジェンダーは、他の持続可能な開発目標に対するメインストリームであるべきである。

前進がある一方で、女性に対する暴力の危険は世界中で増加し続けている。われわれは、政府にジェンダーに敏感な予算を実現し、女性に対するあらゆる形態の暴力を防止し、排除するために、より強力な強制措置や法律を制定することを求める。また、われわれは、NGOや国際的な統治機関に女性に対するあらゆる形態の暴力を防止し、排除することに集中的な努力をするように求める。

われわれは、女性と少女の性とリプロダクティブ・ヘルスの権利を含む人間の尊厳と権利に対する暴力と犯罪の深刻な形態である人身売買および性の売買を遺憾に思う。われわれは、NGO、政府、および国連のような国際的な政府機関が人身売買および性の売買を禁止するために具体的な措置を講ずるように要請する。

世界の他の地域と比較すると、アジア太平洋地域における女性の政治参加は依然として低いままである。われわれは、女性の政治参加の増加が政治の変革に貢献するものと考え、われわれは、NGO、国際的な政府機関や政党が、社会におけるあらゆるレベルの意思決定においてジェンダー割当制度を実施することによって、それぞれの国における女性の平等な政治参加に取り組むように要請する。NGOは、他のNGO、国際政府機関、政党や政府と協力して、農村部の女性や少女を含めて女性や少女のための政治的リーダーシップとエンパワーメントに関する研修プログラムを開発するために協力しなければならない。

経済的エンパワーメントは、継続する女性の貧困を根絶し、ジェンダー平等を達成するための鍵である。われわれは、NGOが産前産後休暇、育児と家族にやさしい企業文化のような、仕事と生活の調和のための政策によって、女性の経済的地位の向上を達成するための最高の実践をネットワークでつなぎ、相互に交換することができるように要請する。

われわれは、政府が女性の経済参加を増すためのインセンティブを与えることを勧め、企業の管理職への女性の割当制度を導入し、同一労働同一賃金を確立し、女性の起業および経済的能力のトレーニングを促進するように勧告する。

われわれは、教育は家庭から始まると信じ、政府とNGOが効果的でジェンダーに敏感な親業と幸福な結婚のためのプログラムを開発し、実現していくように勧告する。われわれは、同時に、各国政府が女性や少女に対して生涯教育、資金やトレーニング、および科学および技術教育へのさらなるアクセスを提供するように要請する。

翻訳：立澤麗

監修：林弘子